

第10回 九州・沖縄ブロック野営大会
(10KC)

基本実施計画 (案)

作成 第10回九州・沖縄野営大会 実行委員会

1. 開催の趣旨

世界 169 の国と地域で 4,000 万人のボーイスカウトは、共通の目的と基本原理及び教育方針に基づき、「スカウトは兄弟」をモットーに友情を培い、民族・宗教を超えて国際親善と協力精神を発揮し、世界の平和に大きく寄与している。

ボーイスカウト活動は、野外を教育の場として展開されるよう組み立てられており、野外活動なかでは、規律・創意工夫・自主性・協同精神などを学び、大自然の中でその美しさと偉大さに絶対的なものを感じながら、自然の尊さを学ぶとともに、それらの取り組みの中において自分自身を学び知ることが期待されている。

日本ボーイスカウト九州・沖縄ブロック協議会では、熊本県野外劇場アスペクタの施設をお借りして、九州・沖縄各県のボーイスカウト約 700 名が野営活動を通じてスカウト同士の友情をあたため深めるとともに、日頃の訓練の成果を十分に発揮して、人として最も大切な徳を磨き、自他ともに「命の大切さ」を体得することを期待して本野営大会を開催する。

2. 大会テーマおよびマーク

“翔け、われらのパトローリング”
阿蘇の地で、パトローリングを磨こう！

班制（パトロール システム）はスカウト運動の成功の鍵である。スカウトが減少した現在でも、パトロールは適切に維持され活動（パトローリング）が活性化されたものでなければならない。本大会が当該部門指導者および関係者にとって、パトロールの確立を図る取り組みの良い機会となることを期待する。

大会マーク：公募を行い、令和 6 年 3 月までに決定する。

3. 実施概要

- ・大会名 第 10 回 九州・沖縄ブロック野営大会
- ・開催期間 令和 6 年(2024 年) 8 月 2 日(金)～8 月 6 日(水)
※施設設置予定：令和 6 年(2024 年) 8 月 1 日(木)～8 月 8 日(木)
- ・会場 熊本県野外劇場アスペクタ（熊本県阿蘇郡南阿蘇村久石 4411-9）
- ・主催 日本ボーイスカウト九州・沖縄ブロック協議会
- ・参加人員（見込数）
スカウト 約 600 名（他ブロックおよび海外スカウト含む）
指導者 約 100 名

4. 参加者

本大会は、加盟員のボーイスカウト、ベンチャースカウトを参加の主体とし、参加隊指導者およびローバースカウトにより構成する。参加隊として、外国連盟、ガールスカウト等の関係団体の参加も歓迎する。

また、大会運営スタッフは、加盟員のローバースカウト、成人指導者で構成されるが、外国連盟、ガールスカウト、関係諸団体、一般成人等の奉仕を歓迎する。

5. 参加資格

参加するスカウトおよび指導者は、令和6年度の加盟登録を有し、5泊6日のキャンプ生活に十分に耐えうる心身の健康とキャンプ技能を有すること。

また、スカウトおよび未成年の指導者の参加にあたっては、保護者の同意が得られていること。

(1) ボーイスカウト

ボーイスカウトで、上記の参加資格を有すると原隊隊長が認めた者

(2) ベンチャースカウト（参加隊所属）

ベンチャースカウトで、上記の参加資格を有すると原隊隊長が認めた者

(3) ベンチャースカウト（活動チーム参加）

野営章、野外炊事章を取得した1級以上のベンチャースカウトで、上記の参加資格を有すると原隊隊長が認めた者

(4) ローバースカウト、未成年指導者

上記の資格を有すると原隊隊長（未成年指導者は団委員長）が認めた者

(5) 参加隊の指導者

隊長 : 25才以上で、WB研修所BS課程（課程別BS研修）修了者。

副長 : 20才以上で、WB研修所修了者が望ましい

副長補 : 18才以上で、ボーイスカウト講習会以上の修了者が望ましい

上級班長 : 指導力を有する1級以上のスカウトであり、班長、次長として経験を有する者

隊付 : 18才以下で、指導力を有する1級以上のスカウト

(6) 一般奉仕者、特別参加者

運営本部長より大会運営のため特に協力を依頼（要請）した者

九州・沖縄ブロック以外の者で、担当県連盟が正式許可を与えた者

6. 参加費

(1) 参加費は、21,000円（予納金5,000円、確定申込金16,000円）とする。

- ・予納金は返金しない。
- ・参加費（確定申込金）は、施行状況により変動する場合がある。
- ・参加費の取りまとめは各県連事務局にて行う。

(2) 参加費は次の費用に充てる。

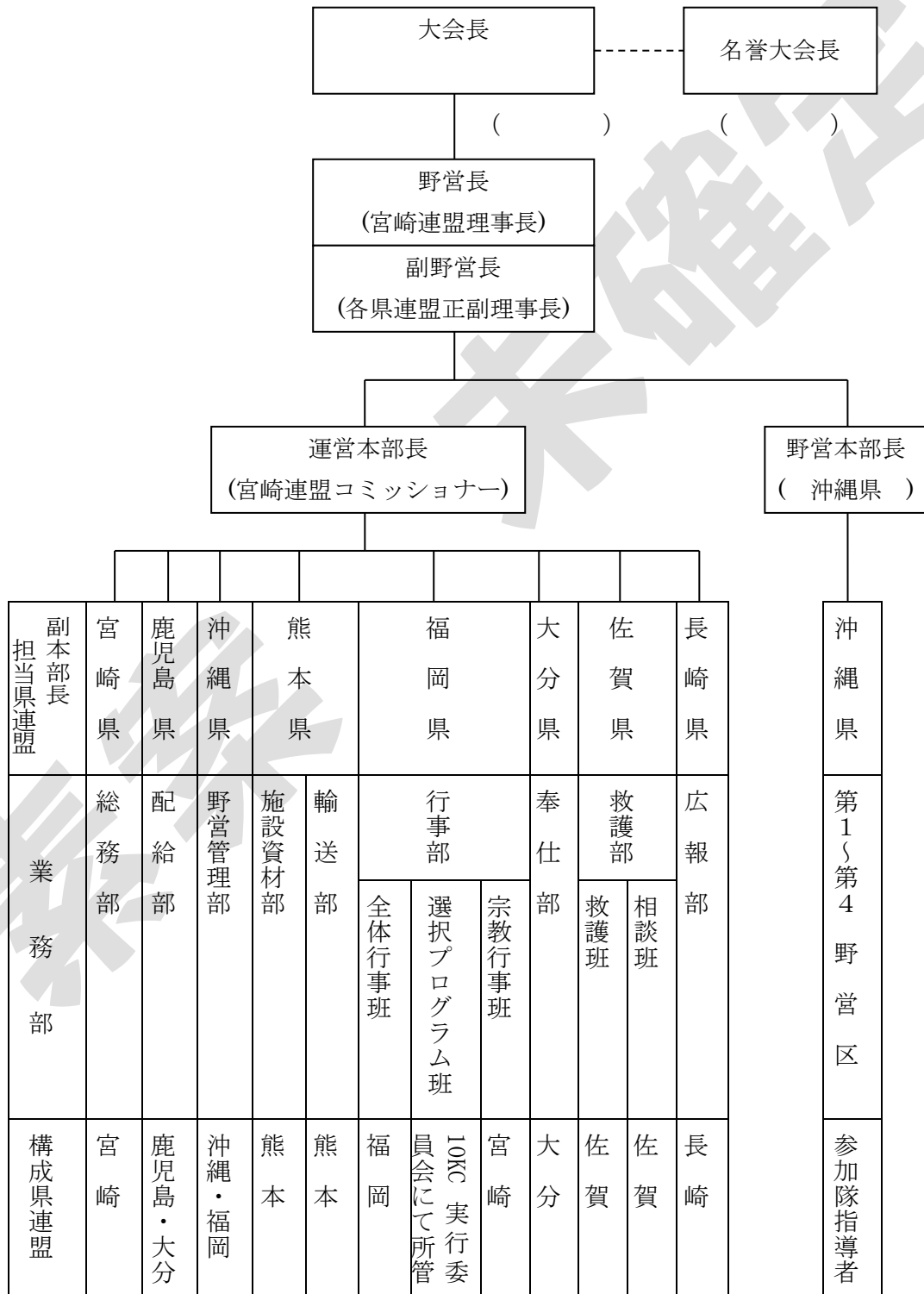
- ・大会期間中の食料（但し、主食の米は各自持参）
- ・場内プログラム費、参加章、配布書類等の費用
- ・大会運営費

※ 会場までの輸送交通費、大会プログラム以外の班プログラム費用、各県連派遣団費等は含まない。

	設営	開会式		宗教儀礼	CS・BVS デイ			大集会・閉会式	撤営	
--	----	-----	--	------	--------------	--	--	---------	----	--

9. 大会組織

(1) 大会組織図



(2) 各業務部の役割（抜粋）

業務部名	業務内容（抜粋）
総務部	・大会事務、会計事務、庶務業務、地元業者との初期折衝 ・ブロック外および海外参加者への対応 ・参加申込や一般来訪者および見学者の受付と人員管理、相談業務
配給部	・献立作成、炊事指導、食糧調達の地元業者との折衝、購入保管 ・本部スタッフへの給食対応
野営管理部	・野営区割り ・場内警備、緊急避難誘導、生活指導、水汲み場・トイレ等管理指導 ・セーフ・フロム・ハーム連携
施設資材部	・電気設備、給水設備等諸施設の設計と施工業者折衝、および敷設 ・敷設後の管理 ・各業務部の共通資材（テント、イス等）の調達設置
輸送部	・会場内外の交通整理と安全確保 ・駐車場利用の指導
行事部	・開閉会式および大集会、諸催事の立案準備運営 ・場内外におけるプログラムの立案準備運営 ・宗教儀礼の立案準備運営
奉仕部	・奉仕参加スカウトによる奉仕隊編成と管理 ・各業務部からの要請取りまとめと奉仕参加スカウトの派遣
救護部	・救護所の設置、医師看護師の手配、一次救護活動の実施 ・カウンセリングの実施、セーフ・フロム・ハーム連携
広報部	・報道関係者の対応と連絡 ・大会ニュース、記録、アルバムの作成および配布
野営区	・野営本部長が統括し、参加隊指導者が構成員となる ・班の活動や生活を管理する。 ・各業務部と連携、特に配給は野営区を通して行う。

10. 会場レイアウト

(1) 会場レイアウトは別紙参照

(2) 仮設施設は下記施設を計画する。

- ・給水施設 既設水道本管より引き込み、飲料水、シャワーに利用する。
- ・シャワー施設 男女個室水シャワー施設
- ・トイレ 男女仮設トイレ 概算 50 機程度

- ・汚水枡 野外調理等から出される一次濾過後の排水を廃棄用
- ・本部・業務部テント アスペクタ施設の全館利用、必要により適宜準備する。
- ・会場ゲート、看板 メインゲート等の出入り管理、大会アピール

11. プログラム

本大会での活動は、班プログラムに従い自発的に展開することを基本とする。班プログラムは活動前に参加隊長の承認を得たのち、行事部が確認し調整する。

(1) プログラム日程

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
8/2 (金)	8/3 (土)	8/4 (日)	8/5 (月)	8/6 (火)	8/7 (水)
入場 設営 開会式	班長訓練の日 班プログラム	班プログラム 宗教儀礼 CS・BVS デー	班プログラム 大会プログラム参加	班プログラム 大会プログラム参加 大集会・閉会式	全体朝礼 撤営

(2) プログラム内容 (例)

- ・班長訓練の日： 各野営区で行う。大会プログラムに必要とされる技能を中心に、訓練内容を大会期間中の班プログラムで班員に訓練する。
- ・2日目、3日目：大会プログラム参加訓練、会場周辺のハイキング、会場施設利用プログラム、宗教儀礼、CS・BVS デー奉仕 等
- ・4日目、5日目：大会プログラムは体験型ではなく、ハイキングを基本として目的地（活動資源）と定時巡回バス等の移動手段を提供する。

例1：

例2：

例3：

例4：

例5：

- ・SDGs への取組を取り入れたプログラムの実現を図る。
- ・CS・BVS デーのプログラムは別途計画する。

(3) 大会 AWARD

大会プログラムの主軸に自然・歴史・スカウトスキル・パトローリングなどの課題を設け達成したら大会 AWARD を取得できる。

12. 野営管理

参加隊サイトではなく、班サイトの区割りを行う。参加する全班数を概ね4分割し、第一野営区～第四野営区に割り付けて配給や管理（全体班長会議等）を行う。

(1) 班サイト

男女テント、食堂フライ（班集会兼用）、カマドスペースを確保できるサイト面積とする。

(2) 班サイトの割り付け

参加隊の班は、全野営区にランダムに割付ける

ことを基本とする。但し、やむを得ないと判断される場合は、近接して割り付けることがある。

(3) 指導者エリア

野営区内に1つの指導者エリアを設置し、班への配給および全体班長会議等を行う。野営本部長の下部組織として、大会運営スタッフ、および参加隊指導者で構成される。また、野営管理部と連携して、警備、生活指導、共用施設の運営等の野営管理の実業務を行う。

(4) 参加隊指導者の生活エリア

参加隊指導者の生活エリアは、大会運営スタッフと同様に成人エリア、またはベンチャーローバーエリアとし、班サイトエリアには居住しない。

但し、女子スカウトが班に1名いる場合に女子ローバースカウトが居住するなどの適宜の対応はあり得るが、セーフフロムハームを遵守すること。

(5) 海外参加隊、および隊スカウトの進級状況等にやむを得ない理由がある場合に、当該県コミッショナー承認の下で野営区内に隊サイト(隊指導者の居住含む)を割り当てる場合がある。

13. キャンプ生活

(1) ボーイスカウトおよびベンチャースカウトは班炊事を原則とする。

(2) 直火は禁止とし、カセットガスコンロ、キャンピングストーブ等の使用を基本とする。

※営火については協議中

(3) カセットガスボンベ等は大会側では準備せず、隊または班資材として準備すること。

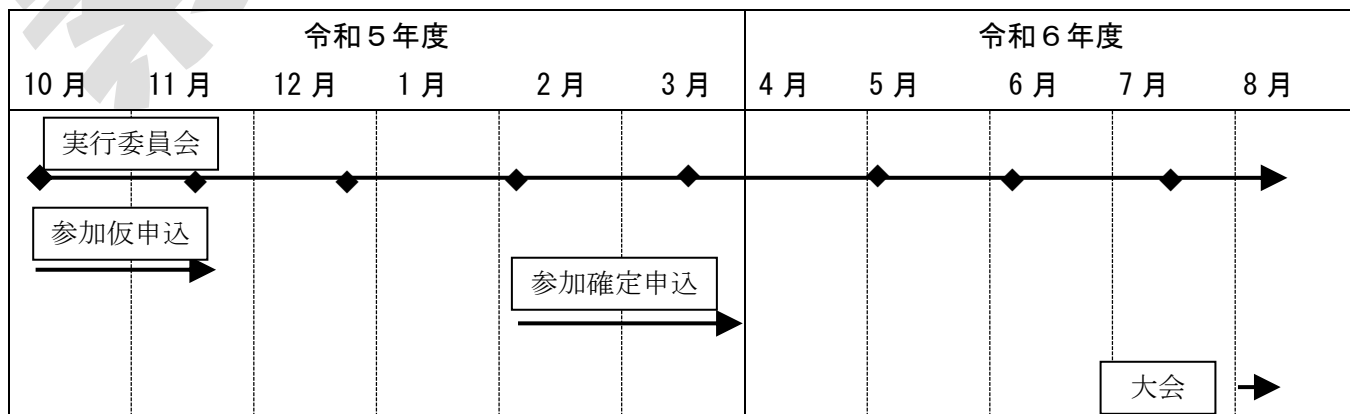
(4) 隊マネジメント

参加隊指導者による自隊の班に対するマネジメントは、指導者エリア業務をきめ細かく補完するものとして以下のごとく実施する。

- ・ 毎朝、毎晩の点検
- ・ 朝礼 (CS・BVS デイエリア、プログラムエリア等の任意の場所で行う)
- ・ 班長会議 (当番班サイト、空き時間の指導者エリア等の任意の場所で行う)

14. 大会準備日程および実施要領について

(1) 大会迄の準備は概ね下記の如く進める



(2) 本基本計画に従い実施要領を作成する。

- ・参加隊指導者向け基本実施要項は、令和6年2月までに確定し公開する。
- ・各業務部の実施要領および基本実施要領関連項目は、令和6年2月までに確定する。

以上

未確定

未確定